

新2号館からはじまる

Re:WORK

もっと柔軟に、もっと自分らしく



近代的庁舎として竣工（1957年）



第1回神戸まつり（1971年）



阪神・淡路大震災により中間層が崩壊（1995年）



解体前の旧2号館（2018年）

はじめに

阪神・淡路大震災を乗り越えた旧2号館が、ホテルや商業施設を備えた複合施設として2029年度に新たに生まれ変わります。

庁舎を建て替えることは、建物が新しくなるだけでなく、職員の意識や働き方を変える大きなチャンスです。

「新2号館からはじまる Re: WORK」という本書のタイトルのとおり、今の働き方の「当たり前」を見直し、時代に合った働き方へとアップデートしていきましょう！

建物の概要	<u>2</u>
庁舎フロアイメージ	<u>3</u>
コンセプト策定	<u>4</u>
コンセプトに基づく働き方	<u>6</u>
新2号館の働き方モデル	<u>9</u>
おわりに	<u>12</u>

多機能で にぎわいあふれる 建物に！

完成するのは庁舎だけではない。
いろんな目的を持った人が訪れる場所へ。

2029年度竣工予定



5つ星ホテル
ラグジュアリーホテルが併設。
いつかは泊まってみたい。



屋上庭園
緑あふれる庭園で、外の空気に
触れてリフレッシュしよう。



商業施設
商業施設を備え、ランチや
ショッピングが建物内で完結。

市民利用空間

フラワーロードに面した大空間では
市民活動やイベントが盛んに。



1号館・中央区役所・地下通路と接続

駅からの地下通路や連絡棟との接続で、建物間の移動がスムーズ。

市民利用空間 1階

商業施設 B1～2階

機能性に 優れた 庁舎フロア

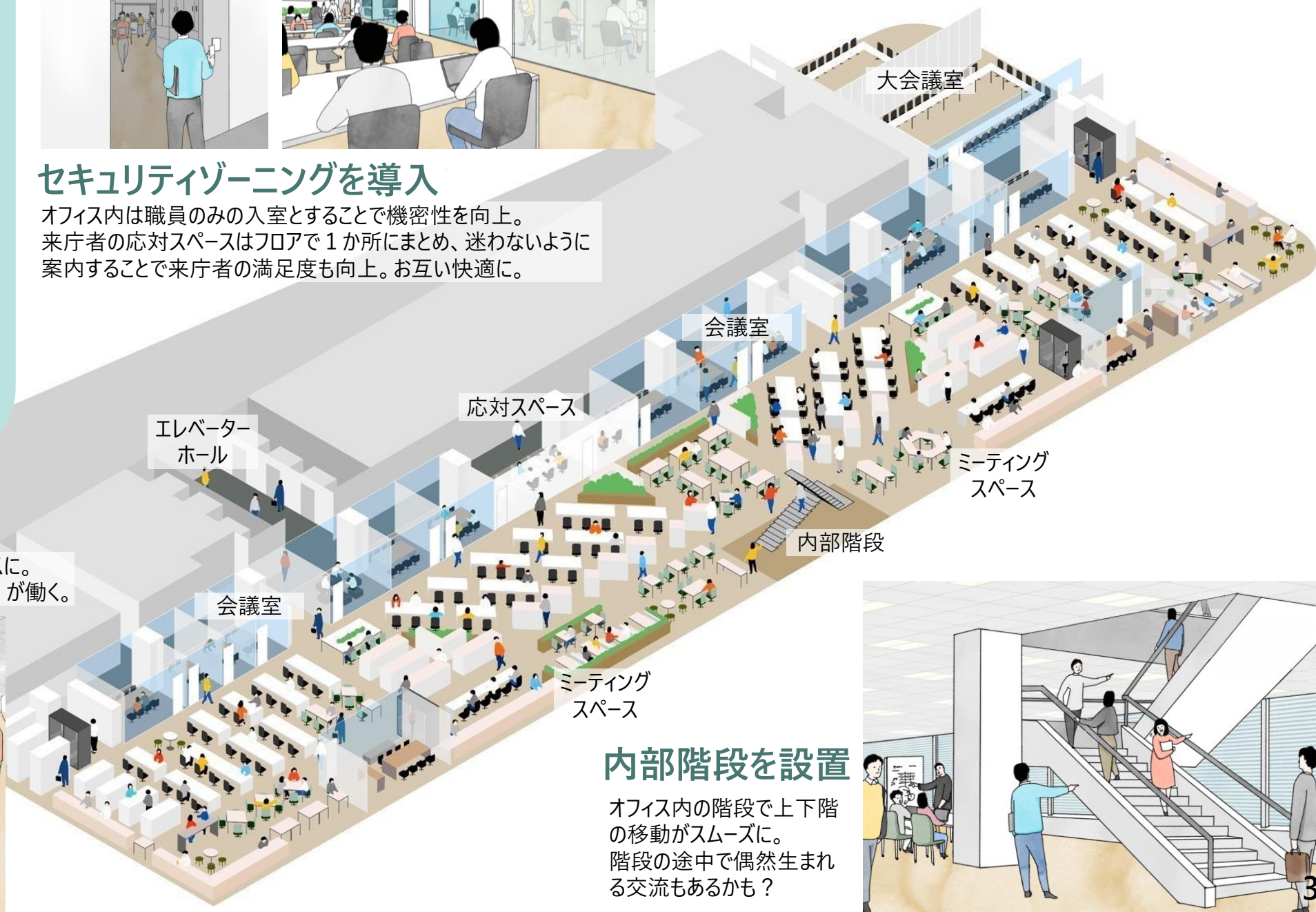
開放的なオフィスで、
局を越えたつながりを広げていこう。
家具のレイアウトはこれからの検討で
自在にアレンジ。

セキュリティゾーニングを導入

オフィス内は職員のみ入室とすることで機密性を向上。
来庁者の対応スペースはフロアで1か所にまとめ、迷わないように
案内することで来庁者の満足度も向上。お互い快適に。

オープンな大空間を確保

部署間の間仕切りはなく、開放感あふれるオフィスに。
全長約100mのオフィスに300人以上（1フロア）が働く。



内部階段を設置

オフィス内の階段で上下階
の移動がスムーズに。
階段の途中で偶然生まれ
る交流もあるかも？





新 2 号館における 働き方を考えよう！

毎日オフィスで過ごしているけど、
オフィスのあり方をじっくり考えることはなかなかない。
まずは課題から洗い出してみよう。

2023年度からオープンミーティングや民間のオフィス見学を実施。100名を超える職員が議論に参画。

庁内外連携

自所属だけでは解決できない
問題が増加しているが、局や
部署を超えた連携が不十分。

庁外の方との対応に適した
スペースや会議室が不足。

業務効率

電話等で作業が中断
され、集中しづらい。

紙文書が多い。

会議の準備に時間がかかる。
(場所の確保、ウェブ会議
の準備等)

職場環境

家具の配置が画一的で、
オフィスの居心地がよくない。

職員同士の交流や
リフレッシュに適した
場所がない。

職員の 課題認識



新2号館で 目指す 主な取り組み

庁内外連携

- ・職員同士の顔が見え、部署を超えた連携が生まれやすい環境づくり。
- ・庁外の方の対応スペースや遮音性に優れた会議室の整備。

業務効率

- ・集中作業に適した場所の整備。
- ・ペーパーレス化のさらなる推進。
- ・会議室、打合せスペースの充実。

職場環境

- ・居心地がよく、働きたくなるオフィスに。
- ・リフレッシュの場や交流が生まれやすいスペースの整備。

3つの コンセプト

1

複合的な
行政課題に
対応する

2

スピード感を
持って
業務推進する

3

生き生きと
働ける
環境をつくる

新2号館でどんな働き方をしていきたい？

理想の働き方から、オフィスのありたい姿をみんなで考えよう。

新2号館で目指す 「3つのコンセプト」



1

複合的な 行政課題に 対応する

庁内外のつながりを広げて課題を解決していこう！
自由闊達な議論でアイデアが生まれやすい環境づくりも。

部署を超えて 連携しよう

- ・部署間の物理的な壁をなくして心理的な壁も取り払おう！
- ・部署を超えて利用する共用スペースや内部階段の設置など、職員同士の対面コミュニケーションを誘発するしかけづくりも。



創造性を 引き出す

- ・アイデア出しは会議室よりもカジュアルなミーティングスペースで。
- ・リラックスして自由な発想で議論することで、よいアイデアが生まれるかも？

庁外との つながりも強く

- ・市民利用空間でのオープンミーティングやイベントで庁外にもひらく、つながる。
- ・来庁者との打合わせは音漏れの心配のない会議室で。





2 スピード感を持って 業務推進する

業務のボトルネックを解消し、スピーディーに仕事を進めていこう！

成果を上げつつ早く仕事を終わらせ、自分や家族との時間も大切にしたい。

ペーパーレスで身軽な 働き方を実現

- ・ペーパーレス化を進めると働き方はもっと自由に！
- ・AIやデジタルツールを徹底的に活用して、働き方を根本的に見直そう。



打合せをスムーズに

- ・会議室やミーティングスペースをオフィス全体で共用化して有効活用していこう。
- ・カメラやマイクが常設された会議室があると、ウェブ会議はより身近になる。

一人で集中 できる環境も

- ・個人集中ブースで作業に没頭しよう。
- ・たまには外の景色が見えるカウンター席や昇降式デスクに移動すると、気分も変わり業務が捗る。





居心地よく快適な環境に

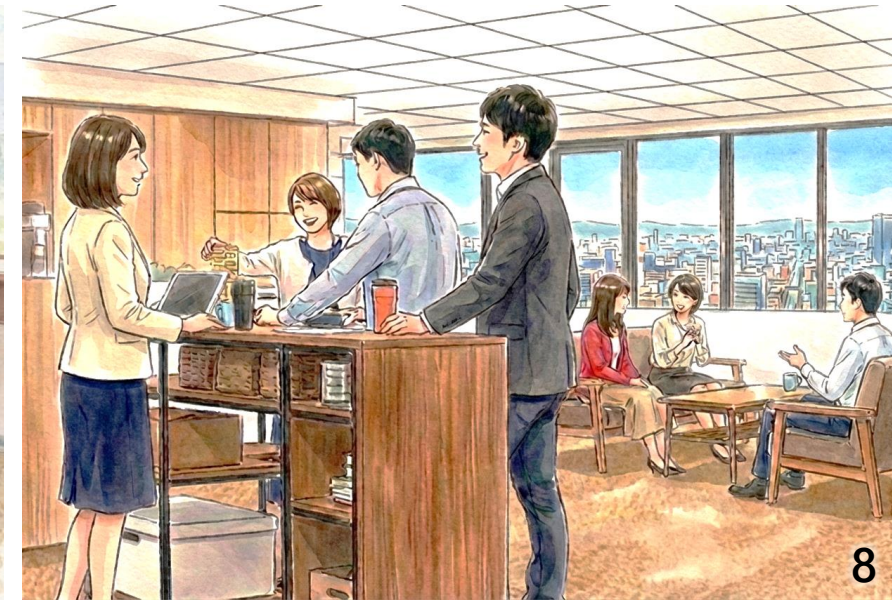
- ・モノよりも人のスペースを優先し、ゆとりのある、落ち着いた環境で働こう。
- ・健康のため長時間使う机や椅子は快適なものにするとともに、窓からの景色やグリーンを生かしてリラックスできる空間に。

職場は1日の大半を過ごすところ。
ここが快適じゃないと
職場に来るモチベーションは上がらない！

3 生き生きと 働ける 環境をつくる

リフレッシュできる 場所も大事に

- ・お昼休みは自席を離れて気持ちを切り替えよう！
- ・仕事に行き詰まったときは少し歩いて一息ついてみる。
- ・偶然会った知り合いとの何気ない会話から解決のヒントが見つかるかも？



新2号館の 働き方

若手職員も、チームのサポート
を受けて活躍できる！



Aさん（担当者）

- ・入庁4年目で区役所から本庁（局総務）へ異動。
- ・区役所と本庁のギャップに戸惑っており、日々先輩職員や上司に相談しながら業務に取り組む。



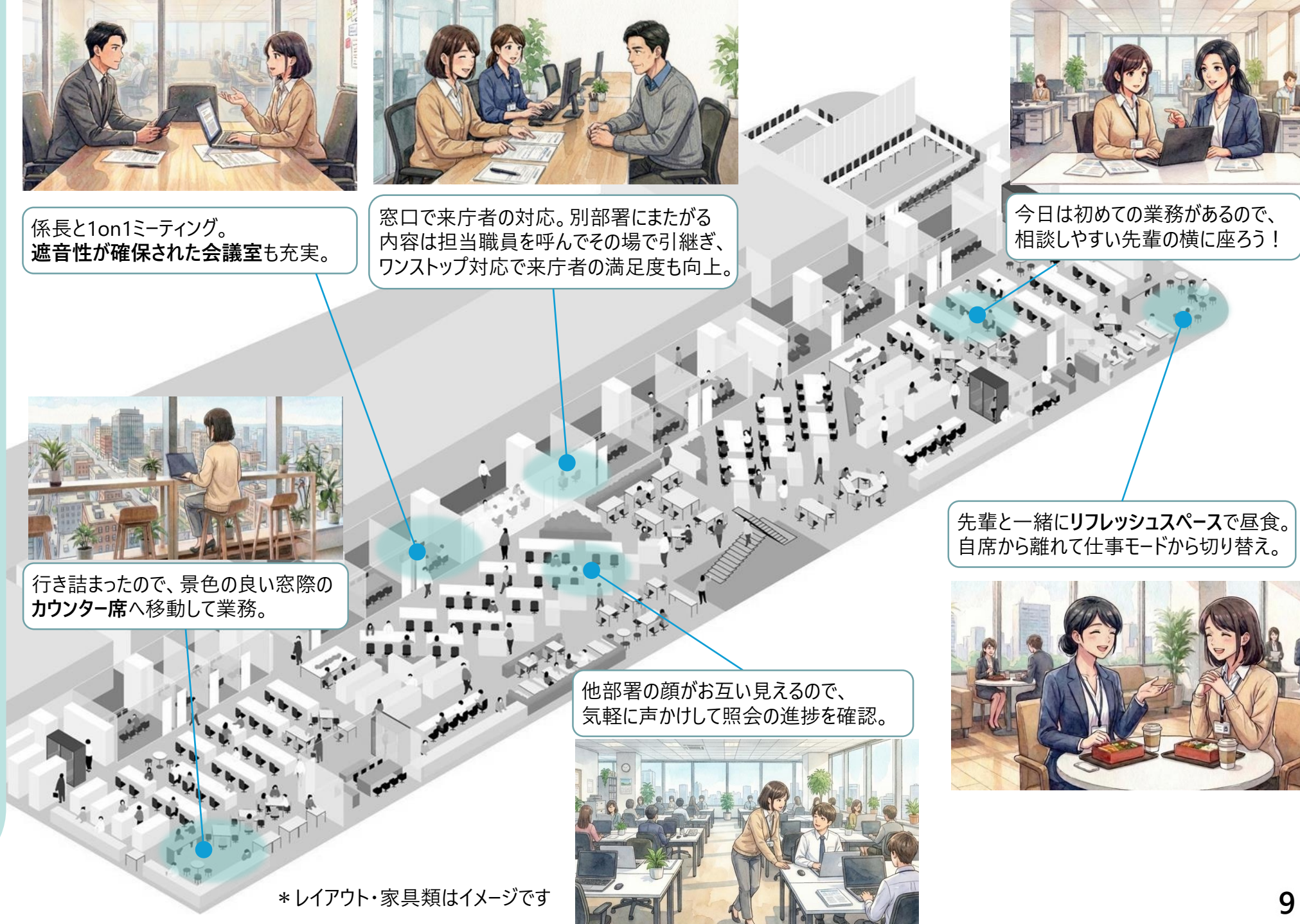
係長と1on1ミーティング。
遮音性が確保された会議室も充実。



窓口で来庁者の対応。別部署にまたがる
内容は担当職員を呼んでその場で引継ぎ、
ワンストップ対応で来庁者の満足度も向上。



行き詰まったので、景色の良い窓際の
カウンター席へ移動して業務。



今日は初めての業務があるので、
相談しやすい先輩の横に座ろう！

先輩と一緒にリフレッシュスペースで昼食。
自席から離れて仕事モードから切り替え。

他部署の顔がお互い見えるので、
気軽に声かけして照会の進捗を確認。



*レイアウト・家具類はイメージです

新2号館の 働き方

業務効率化で生まれる
余白が創造性を育てる！



Bさん（担当者）

- ・複数の局にまたがる課題解決に取り組み、日々アイデアを考えている。
- ・こどものお迎えがあることもあり、業務効率化を追求。



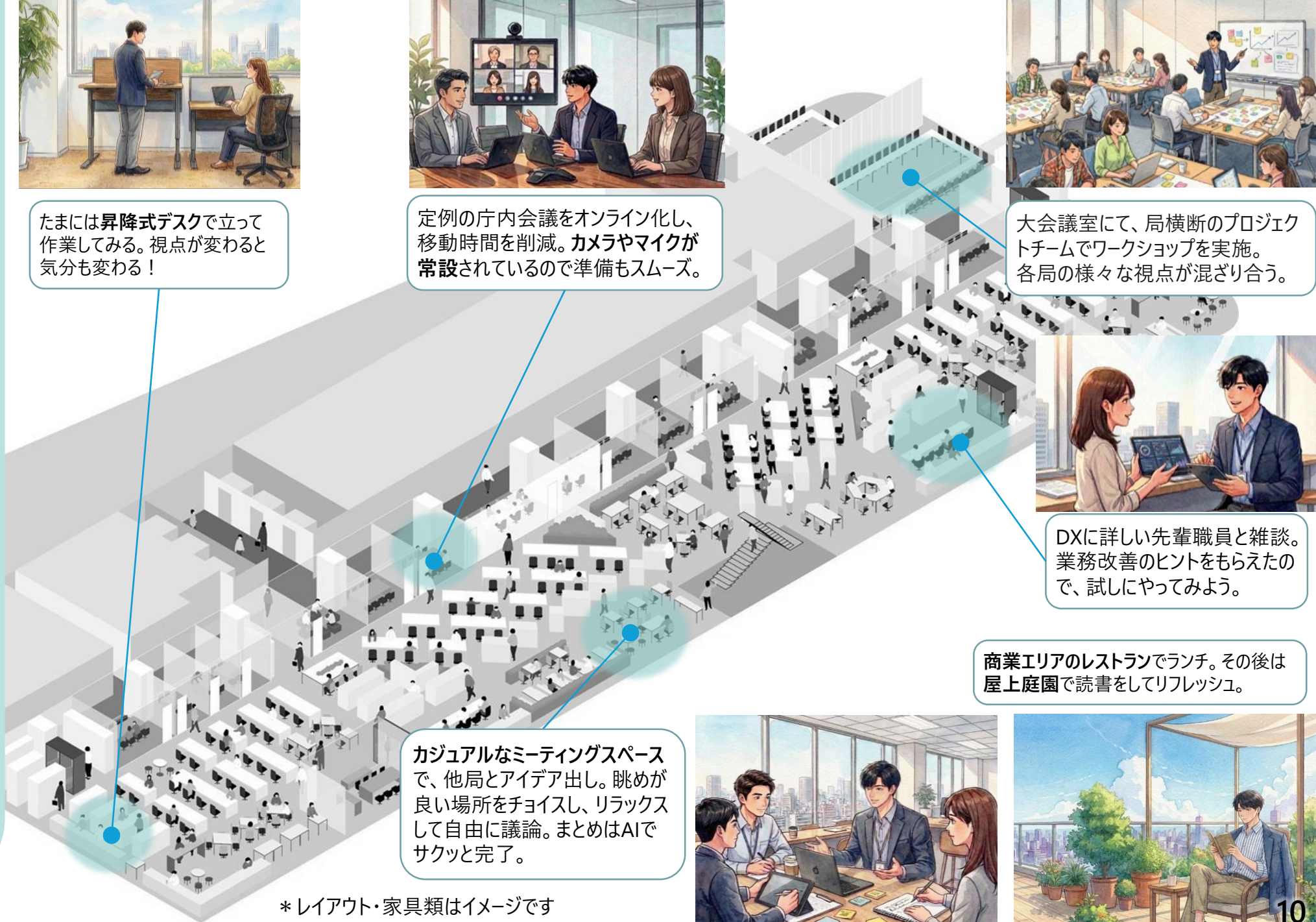
たまには昇降式デスクで立って作業してみる。視点が変わると気分も変わる！



定例の庁内会議をオンライン化し、移動時間を削減。カメラやマイクが常設されているので準備もスムーズ。



大会議室にて、局横断のプロジェクトチームでワークショップを実施。各局の様々な視点が混ざり合う。



DXに詳しい先輩職員と雑談。業務改善のヒントをもらえたので、試しにやってみよう。

商業エリアのレストランでランチ。その後は屋上庭園で読書をしてリフレッシュ。

カジュアルなミーティングスペースで、他局とアイデア出し。眺めが良い場所をチョイスし、リラックスして自由に議論。まとめはAIでサクッと完了。



*レイアウト・家具類はイメージです

新2号館の 働き方

庁内外のつながりを強化し、
新たな価値を創出する！



Cさん（係長）

- ・企業との連携事業を担当しており、新規事業の立ち上げも手がける。
- ・企業訪問やミーティングで席にいないことが少ないため、オフィスでは毎日自由に席を選ぶ働き方をしている。



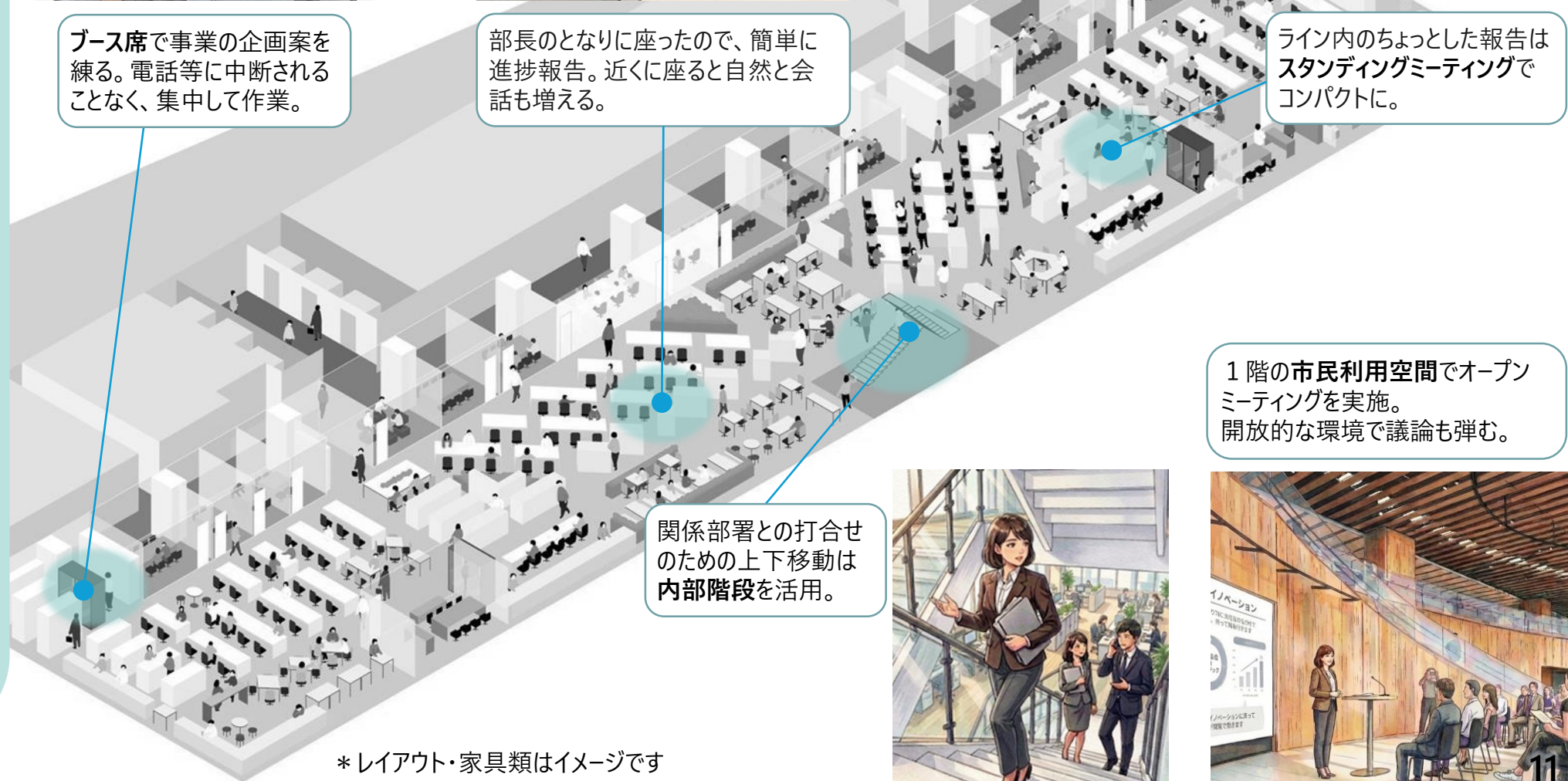
ブース席で事業の企画案を練る。電話等に中断されることなく、集中して作業。



部長のとなりに座ったので、簡単に進捗報告。近くに座ると自然と会話も増える。



ライン内のちょっとした報告はスタンディングミーティングでコンパクトに。



1 階の市民利用空間でオープンミーティングを実施。開放的な環境で議論も弾む。

関係部署との打合せのための上下移動は内部階段を活用。



* レイアウト・家具類はイメージです



2025年度に実施した局横断ミーティングや民間オフィス見学の様子

本書の制作にあたり、新2号館へ入居想定各局の係長・担当者が集まり、1年間にわたり局横断ミーティングや民間オフィスの見学を通じて議論を重ねました。

ミーティングでは、「庁舎整備の機会を生き、思い切って働き方を変えていこう」という思いのもと、新2号館で実現すべき働き方について率直な意見を出し合い、本書を読んだ方が新2号館における働き方をイメージでき、ワクワクを感じてもらえるよう、表現にも工夫しました。

本書は新2号館のオフィスの方向性を示したものであり、具体的なレイアウト検討はこれから始まります。

ここにまとめた想いを形にし、「もっと柔軟に、もっと自分らしく」働くことができるオフィスをともにつくっていきましょう。

おわりに

制作チーム

地域協働局、文化スポーツ局、福祉局、健康局、こども家庭局、
環境局、経済観光局、企画調整局、行財政局、都市局都心再整備本部